

HCU EAGLES NEWS

広島都市学園大学 女子バスケットボール部 R7.11 NO.31



努力は報われる？

目的。バスケットボールに取り組む目的は何か？と問われてどれだけの人が即答できるだろうか。スポーツは教育だ。自分で自分自身を鍛える最高の機会だ。スラムダンク勝利学の著者辻秀一氏は著書「ほんとうの社会力」で次のように述べている。

スポーツには自分がいて目標がある。目標を共に目指す仲間がいる。目標の前には障害があり、ライバルもいる。そしてスポーツにはその競技全体を包むルールがある。まさにスポーツが社会の縮図と言われるゆえんであると。社会の縮図であるからこそスポーツに真剣に取り組むことで、社会で生き抜く強い力が身に付くのではないだろうか。

うまくいかない理由を仲間や、審判や、他人のせいにしたり、時にはライバルの悪口を言ってみたりしたくなるような甘い誘惑がふんだんに含まれている状況の中で、決して他人のせいにせず、明るい顔で仲間を勇気づけようとする人。冷静に状況を見つめ課題を明確にし、計画を持って行動につなげる人。人格を磨く機会が何度もあらゆる場面に待ち受けているから成長するチャンスがあるのである。

目標。「努力は人を裏切らない」美しい言葉も熟慮して自分のものにする必要がある。短期的な意味では努力したからといっていつも**目標が叶うとは限らない**。スポーツには勝敗があるのだからどちらのチームも努力してきたのであれば、努力してもどちらかのチームは敗れるのである。では、努力に意味がなかったのかということになるが、短期的な意味では目標は叶わなかったかもしれないが、目標を達成するために、払った努力と、その過程で身に付けた経験はその人の人格形成に大きく足跡を残しているはずである。すなわち努力は長期的な意味では**必ず報われる**のである。

我々もインカレ予選では苦汁を飲まされたが、全国の多くの高校生がウィンターカップ出場に向けて大変な努力を重ねたにも関わらず予選で涙を飲んだことだろう。流した涙は決して無意味ではなく、自分を大きく強く成長させていることを忘れないで欲しい。そして前を向いて新たな目標に向けて大きく一步を踏み出してほしいと願う。

学園祭「みやこ祭」で小学生とバスケットボール 11/2



学園祭では「楽しくバスケットボール」と題して小学生と共にバスケットを楽しんだ。インカレ予選後から小学生にバスケットボールの楽しさを感じてもらうために何をすれば良いかをみんなて話し合い、練習を重ねて当日に臨んだ。教えることを通して沢山のことを教わった一日であった。